



2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年8月10日

上場会社名 CKD株式会社

上場取引所 東・名

コード番号 6407 URL https://www.ckd.co.jp/

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 奥岡 克仁

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 竹澤 正 (TEL) 0568-74-1006

四半期報告書提出予定日 2022年8月10日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	38,040	14.0	4,592	3.7	4,662	3.9	3,133	△2.3
2022年3月期第1四半期	33,375	29.4	4,427	246.6	4,488	262.2	3,207	302.3

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 4,744百万円(55.6%) 2022年3月期第1四半期 3,049百万円(90.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2023年3月期第1四半期	円 銭 47.00	円 銭 —
2022年3月期第1四半期	48.13	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2023年3月期第1四半期	百万円 176,982	百万円 111,730	% 63.1
2022年3月期	172,514	109,571	63.5

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 111,730百万円 2022年3月期 109,571百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2022年3月期	円 銭 —	円 銭 28.00	円 銭 —	円 銭 39.00	円 銭 67.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	39.00	—	39.00	78.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	72,500	6.9	9,210	7.3	9,210	6.3	6,490	6.7	97.38
通期	146,000	2.7	18,500	3.5	18,500	2.5	13,000	3.4	195.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2023年3月期1Q	67,909,449株	2022年3月期	67,909,449株
② 期末自己株式数	2023年3月期1Q	1,234,085株	2022年3月期	1,234,074株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2023年3月期1Q	66,675,372株	2022年3月期1Q	66,634,981株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信 (添付資料) 2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

当社は、2022年8月10日に機関投資家・アナリスト向け説明会を電話会議にて開催する予定です。この説明会で使用する決算説明資料につきましては、決算発表後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報等)	8
3. その他	9
〔生産、受注及び販売の状況〕	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染対策と社会経済活動の両立による制限緩和を背景に、景気は緩やかに回復してまいりましたが、原材料価格の高騰や半導体をはじめとする部品の供給制約などの影響がみられました。

また、ロシア・ウクライナ情勢の長期化やエネルギー価格の上昇、円安の進行による物価の上昇などから景気の先行きに不透明感が出てきております。

設備投資は、企業収益の持ち直しや環境などの成長分野への取組みにより回復が進みました。また、製造業全般における自動化投資や電子産業における情報通信技術の用途の拡がりを背景とした投資は継続して行われ、堅調に推移しました。

海外経済は、欧米を中心にコロナ禍からの早い立ち直りが奏功し、底堅い回復が続きました。東南アジアも、活動制限の緩和により経済活動が正常化し、輸出の増加とともに景気が回復しました。一方、中国では、ロックダウンによる物流の混乱などが影響し、設備投資に足踏みの状態が見受けられました。

このような状況のもとで、当社グループの当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高38,040百万円（前年同四半期比14.0%増）、営業利益4,592百万円（前年同四半期比3.7%増）、経常利益4,662百万円（前年同四半期比3.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益3,133百万円（前年同四半期比2.3%減）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

① 自動機械部門

自動包装システムでは、薬品向け及び食品向けの売上高が増加いたしました。また、産業機械では、三次元はんだ印刷検査機及びリチウムイオン電池製造システムの売上高が増加いたしました。

その結果、売上高は3,613百万円（前年同四半期比10.8%増）、セグメント利益はセールスマックス及び開発費の増加により、280百万円（前年同四半期比12.8%減）となりました。

② 機器部門

国内市場では、データセンターや車載向けに堅調な半導体需要を背景に、半導体製造装置向け売上高が増加いたしました。また、工作機械向けや環境対応車に関連した製造設備向け売上高は引き続き堅調に推移いたしました。

海外市場では、需要が旺盛だった前年同期と比べますと中国の売上高は減少いたしました。一方、引き続き高い水準で推移しております。一方、半導体設備投資が堅調な韓国や台湾、経済活動が回復基調の欧米、活動制限が緩和された東南アジアの売上高は増加いたしました。

その結果、売上高は34,427百万円（前年同四半期比14.3%増）、セグメント利益は売上高増加により、5,513百万円（前年同四半期比8.0%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ4,467百万円増加の176,982百万円となりました。これは主に、現金及び預金並びに未収消費税等が減少したものの、売上債権、棚卸資産及び有形固定資産が増加したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ2,308百万円増加の65,251百万円となりました。これは主に、未払法人税等が減少したものの、仕入債務、未払費用及び賞与引当金が増加したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ2,158百万円増加の111,730百万円となりました。

自己資本比率につきましては、前連結会計年度末に比べ0.4ポイント減少の63.1%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間及び通期連結業績予想につきましては、部材や原材料の供給制約による生産への影響は受けているものの、製造業全般における自動化投資が継続するなど受注は好調に推移しているため、2022年5月13日に発表いたしました業績予想からの変更はありません。

なお、2022年7月1日から2023年3月31日までの期間における為替レートは1米ドル120円を前提としており、こちらも変更はありません。

この予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいております。実際の業績は、様々な要因により予想数値とは異なる結果となる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	34,527	32,010
受取手形、売掛金及び契約資産	28,702	30,207
電子記録債権	5,961	6,684
営業未収入金	243	236
商品及び製品	10,468	10,641
仕掛品	4,159	5,110
原材料及び貯蔵品	30,135	32,839
その他	2,044	1,501
貸倒引当金	△55	△60
流動資産合計	116,188	119,171
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	21,510	22,270
その他（純額）	22,509	23,360
有形固定資産合計	44,019	45,630
無形固定資産	1,107	1,190
投資その他の資産	11,199	10,990
固定資産合計	56,326	57,811
資産合計	172,514	176,982

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	20,354	21,873
電子記録債務	4,387	4,588
短期借入金	11,735	11,561
未払法人税等	3,908	2,240
賞与引当金	495	2,293
その他の引当金	388	386
その他	12,233	12,807
流動負債合計	53,503	55,752
固定負債		
長期借入金	5,634	5,654
その他の引当金	2	2
退職給付に係る負債	458	496
その他	3,344	3,345
固定負債合計	9,439	9,498
負債合計	62,942	65,251
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,016	11,016
資本剰余金	16,364	16,379
利益剰余金	75,440	75,973
自己株式	△867	△867
株主資本合計	101,954	102,502
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,274	3,209
為替換算調整勘定	4,429	6,091
退職給付に係る調整累計額	△85	△72
その他の包括利益累計額合計	7,617	9,228
純資産合計	109,571	111,730
負債純資産合計	172,514	176,982

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)
売上高	33,375	38,040
売上原価	23,431	27,038
売上総利益	9,943	11,002
販売費及び一般管理費	5,516	6,410
営業利益	4,427	4,592
営業外収益		
受取利息	3	5
受取配当金	63	90
持分法による投資利益	3	—
為替差益	—	92
その他	104	92
営業外収益合計	174	281
営業外費用		
支払利息	52	71
デリバティブ評価損	3	42
為替差損	37	—
固定資産除却損	—	43
その他	20	54
営業外費用合計	113	211
経常利益	4,488	4,662
特別利益		
段階取得に係る差益	—	62
固定資産売却益	0	—
補助金収入	176	12
特別利益合計	176	75
特別損失		
固定資産圧縮損	142	12
その他	10	0
特別損失合計	153	13
税金等調整前四半期純利益	4,511	4,724
法人税、住民税及び事業税	1,543	2,039
法人税等調整額	△247	△449
法人税等合計	1,295	1,590
四半期純利益	3,215	3,133
非支配株主に帰属する四半期純利益	8	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,207	3,133

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益	3,215	3,133
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△316	△65
為替換算調整勘定	149	1,661
退職給付に係る調整額	0	13
持分法適用会社に対する持分相当額	0	—
その他の包括利益合計	△166	1,610
四半期包括利益	3,049	4,744
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,041	4,744
非支配株主に係る四半期包括利益	8	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(ASU第2016-02号「リース」の適用)

米国会計基準を適用している在外子会社において、ASU第2016-02号「リース」(2016年2月25日。以下「ASU第2016-02号」という。)を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しています。

ASU第2016-02号の適用により、借手のリースは、原則としてすべてのリースについて資産及び負債を認識しています。当該会計基準の適用にあたっては、経過措置として認められている当該会計基準の適用による累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用しています。

なお、当第1四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響は軽微です。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	自動機械部門	機器部門	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,262	30,113	33,375	—	33,375
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	26	26	△26	—
計	3,262	30,139	33,401	△26	33,375
セグメント利益	321	5,104	5,426	△999	4,427

(注) 1. セグメント利益の調整額△999百万円には、セグメント間取引消去7百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△1,006百万円が含まれております。全社費用は、主に当社の管理部門に係る費用及び長期的な基礎的研究費用並びにC K Dグローバルサービス株式会社に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	自動機械部門	機器部門	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,613	34,427	38,040	—	38,040
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	19	19	△19	—
計	3,613	34,446	38,059	△19	38,040
セグメント利益	280	5,513	5,794	△1,202	4,592

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,202百万円には、セグメント間取引消去7百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△1,209百万円が含まれております。全社費用は、主に当社の管理部門に係る費用及び長期的な基礎的研究費用並びにC K Dグローバルサービス株式会社に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. その他

〔生産、受注及び販売の状況〕

(1) 生産実績

当第1四半期連結累計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高 (百万円)	前年同四半期比 (%)
自動機械部門	3,114	+1.9
機 器 部 門	35,207	+14.9
合 計	38,321	+13.7

- (注) 1. セグメント間取引については、相殺消去しております。
2. 金額は、販売価格によっております。

(2) 受注実績

当第1四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高 (百万円)	前年同四半期比 (%)	受注残高 (百万円)	前年同四半期比 (%)
自動機械部門	3,864	+5.5	13,266	+3.0

- (注) 自動機械部門以外は、需要見込による生産方法をとっております。

(3) 販売実績

当第1四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高 (百万円)	前年同四半期比 (%)
自動機械部門	3,613	+10.8
機 器 部 門	34,427	+14.3
合 計	38,040	+14.0

- (注) セグメント間取引については、相殺消去しております。